

# コミュニティバスのスマホ回数券について

産学官デジタル研究会「デジくまネクサス」(第2回) 説明資料

2024年7月30日

有限会社 エイ・ケイ・システム

# コミュニティバス「ゆうゆうバス」

## 熊谷市ゆうゆうバス

熊谷市が運営をおこなう地域循環バスで、現在 8 路線で運行中

グライダー号/グライダーワゴン/くまびあ号/直実号/ムサシトミヨ号/ひまわり号/ほたる号/さくら号

	料金 (2024 年 2 月 1 日から)	備考
乗車1回	200 円	小児運賃 100 円
1日乗車券	500 円	
回数券	【紙】 10 回分 2,000 円	バス車内で運転士から購入 または、バス運行事業者の営業所で購入
	<b>【スマホ】 10 回分 1,500 円</b>	



### スマホバス回数券

- ・熊谷市公式LINEアカウントから「クマぶら」に登録することで利用できます
- ・熊谷市地域電子マネー「クマ PAY(ペイ)」でのみ購入可能です
- ・お得な金額でご利用いただけるよう、当面の間、10 回分で 1,500 マネー（1,500円）とします

# スマホバス回数券 - 概要

ゆうゆうバスの回数券を電子化し、利用者の利便性の向上を図り、データを活用した地域サービスの運用改善につなげる

- ・回数券の **購入・使用** に特化したWEBアプリケーション
- ・クマぶらと **LINEログイン連携** で、あらたなアカウント登録不要
- ・地域電子マネー「クマPAY」から **キャッシュレス** 購入
- ・バスロケーションシステム連携による、**乗車バス停の取得**



# スマホバス回数券 - 操作画面

## □ アプリを起動する

初回起動時には、LINEアプリの許可が必要

## □ 回数券を買う

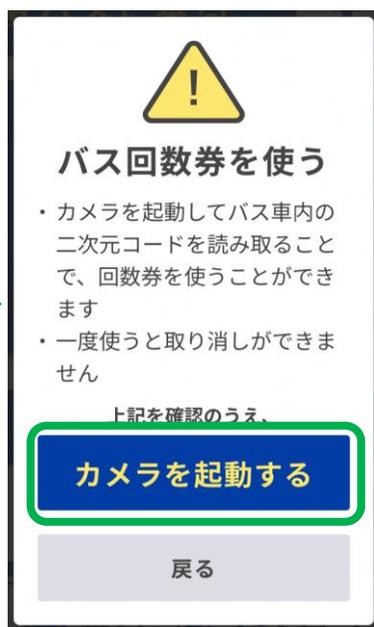
事前にクマPAYチャージしておく

# スマホバス回数券 - 操作画面

## □ 回数券を使う

乗車する直前

バス乗車口



運転士が目視で検札



バス乗車口に掲示している二次元コードをスマホカメラで読み取る読み取れなかった場合は、4桁のコードを直接入力で乗車可能

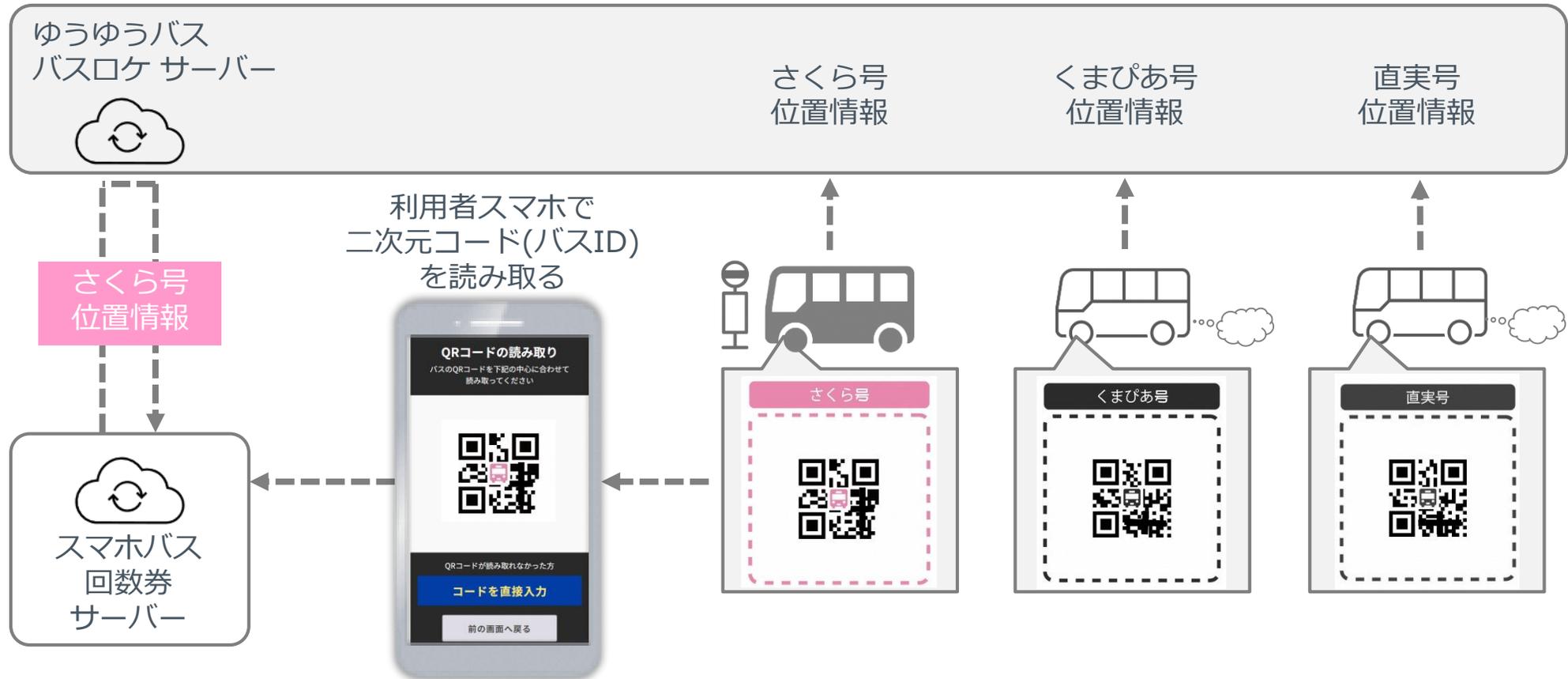
# スマホバス回数券 - バス乗車口の二次元コード設置場所





# スマホバス回数券 - バスロケーションデータ連携

- 利用者は、バス乗車時に、車内に掲示される二次元コード(バスID)を読み取る
- (路線に紐づく)バスIDに対応する位置情報を、バスロケサーバーから取得することにより、回数券システムは、乗車バス停を特定できる (※利用者スマホ端末のGPS位置情報は不要)

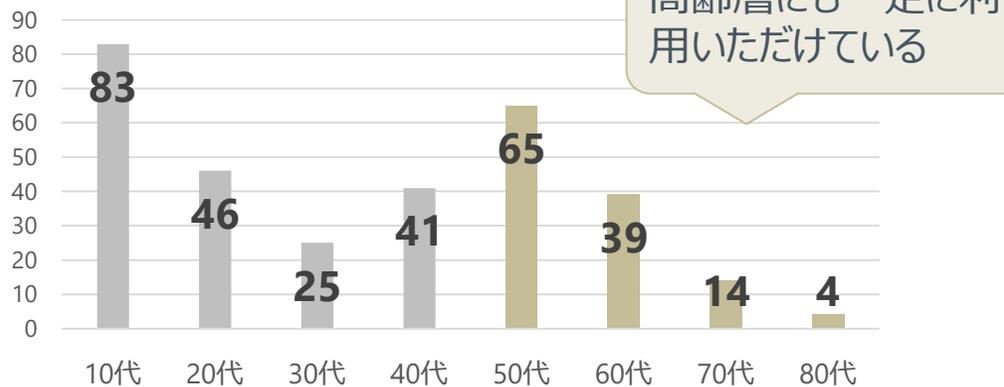


# スマホバス回数券 – 利用状況

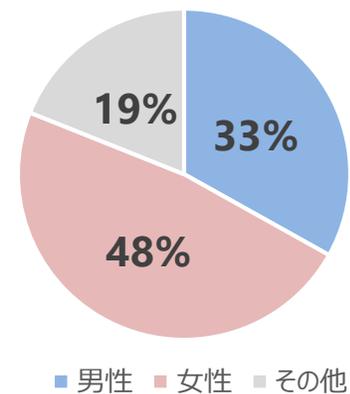
集計期間：2024年1月31日～2024年6月30日（約5か月）

## スマホバス回数券 ユーザー数：317名

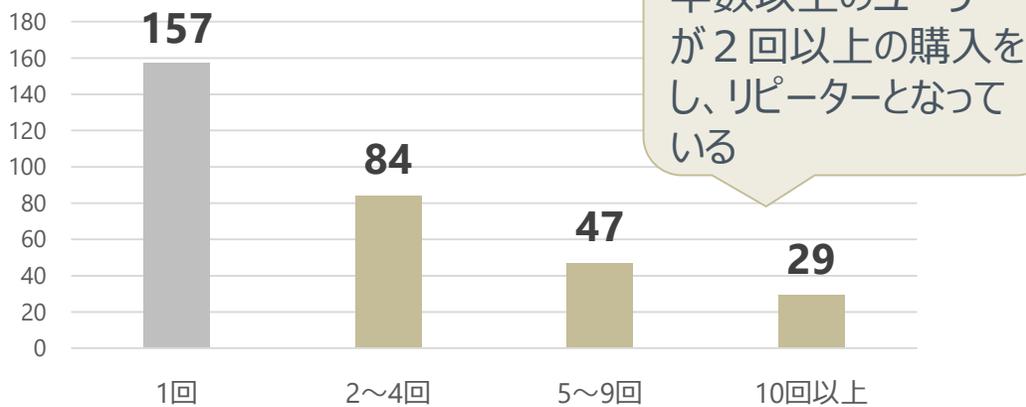
年代



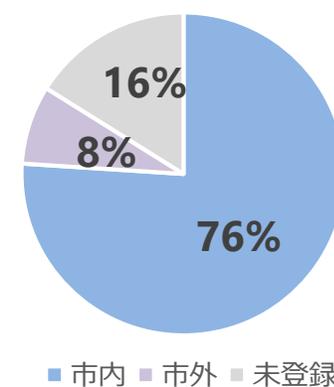
性別



購入回数



居住

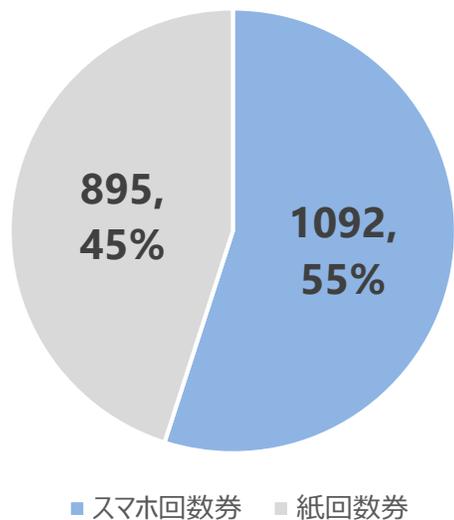


# スマホバス回数券 – 利用状況

集計期間：2024年1月31日～2024年6月30日（約5か月）

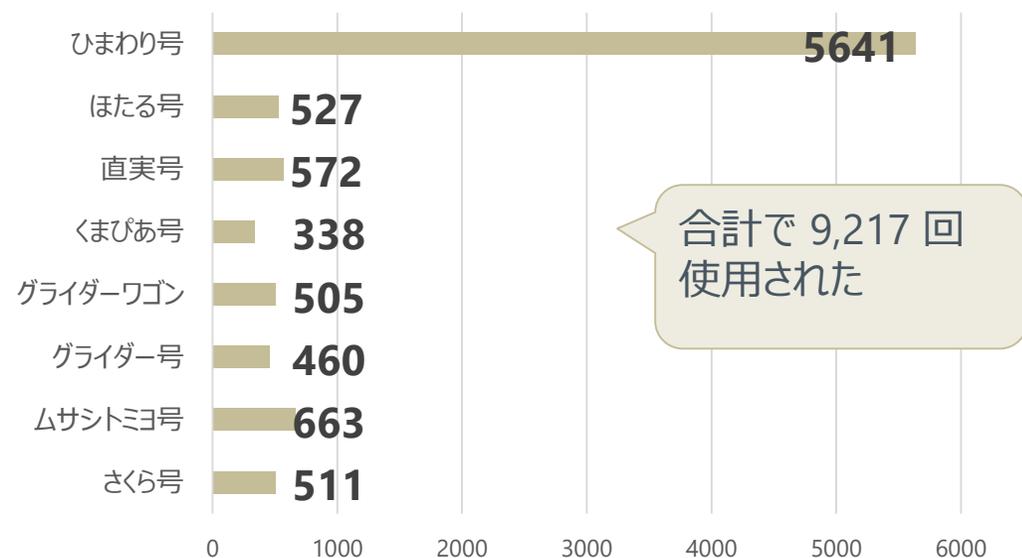
## スマホバス回数券 総販売数：1,092冊

スマホ・紙 回数券



回数券ユーザーの約半数が紙の回数券からスマホバス回数券に移行

路線別使用回数



合計で 9,217 回 使用された

# 降車停留所登録機能 - 令和6年度対応予定

□ 利用者の画面操作により、降車する停留所を選択する



回数券使用済み画面に、降車停留所選択リストを表示される



降車停留所選択リストの一覧から、利用者自身が降車予定の停留所を選択する

